

令和5年度 会計別決算

会計名	歳入(収入)決算額	歳出(支出)決算額
一般会計	109億3,774万円	103億7,559万円
特別会計	49億4,750万円	48億3,856万円
国民健康保険	23億7,076万円	23億2,564万円
介護保険	21億2,243万円	20億6,461万円
後期高齢者医療	4億5,431万円	4億4,831万円
企業(水道事業)会計	6億7,442万円	8億8,199万円
収益的	6億252万円	5億1,335万円
資本的	7,190万円	3億6,864万円
企業(下水道事業)会計	6億8,668万円	8億1,124万円
収益的	5億2,645万円	5億1,135万円
資本的	1億6,023万円	2億9,989万円
総合計	172億4,634万円	169億738万円

～令和5年度健全化判断比率と資金不足比率～

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、財政の健全性に関する比率の「健全化判断比率」と「資金不足比率」を公表します。

地方公共団体は、健全化判断比率により実質赤字比率などの各指標で「健全段階」「早期健全化段階」「財政再生段階」に区分され、早期健全化段階や財政再生段階となった場合には、財政健全化計画・財政再生計画に従って財政健全化を図ることになります。公営企業は、資金不足比率が経営健全化基準以上となった場合には、経営健全化計画を定めなければなりません。

阿久比町の令和5年度決算では、健全化判断比率は「健全段階」となり、資金不足比率は基準を下回りました。

《健全化判断比率》

(単位:%)

指 標 名	町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	14.19	20.00
連結実質赤字比率	—	19.19	30.00
実質公債費比率	5.1	25.0	35.0
将来負担比率	15.9	350.0	—

※ 町の実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字ではないため比率は「—」表示

※ 将来負担比率については、財政再生基準が設定されていないため「—」表示

《資金不足比率》

(単位:%)

事 業 名	町の比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
下水道事業会計	—	

※ 各会計とも資金不足額がないため比率は「—」表示

【用語説明】

- ◇**実質赤字比率** 福祉、教育、まちづくりなどを行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。
- ◇**連結実質赤字比率** 全ての会計の赤字や黒字を合算し、町全体としての赤字の程度を指標化し、町全体としての運営の深刻度を示すものです。
- ◇**実質公債費比率** 借入金の返済額やこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すものです。
- ◇**将来負担比率** 一般会計の借入金残高だけでなく、将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の度合を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。
- ◇**資金不足比率** 公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。

